# TOSHIBA

# <u>TOSLINE - S20 / S20LP</u>

<u> S 2 0 ローダ(W i n d o w s 版)</u>

取扱説明書

# 2011年 4月

# 株式会社東芝

UM-TLS20\*\*-J007

## 目次

1. はじめに
<ol> <li>2.操作の前に 7</li> <li>2.1 S20ローダとは</li> <li>2.2 TL-S20(バス型)接続とTL-S20LP(ループ型)接続</li> <li>2.3 S-LSのインストール</li> <li>2.4 操作手順</li> <li>2.5 TL-S20(バス型)とTL-S20LP(ループ型)の違い</li> </ol>
<ol> <li>コーダの立ち上げ</li></ol>
4. 操作   14
<ul> <li>4.1 ステーション接続図</li></ul>
<ul> <li>4.2 設定情報</li></ul>
4 . 3 データアクセス 2 8 4 . 3 . 1 スキャンエリアのアクセス
<ul> <li>4.4 RAS情報</li></ul>

4	ļ.	5	回線要求	4 0
4	ļ.	6	テスト要求	42
4	↓.	7	通信環境	44
5.		終了	7	47

### 1.はじめに

1. はじめに

この説明書は、データ伝送装置TOSLINE-S20/S20LPの伝送ローダ(S-LS Windows版)について説明します。

S-LSには既存のDOS版がありましたが、これをもとにWindows95版を開 発しました。TOSLINE-S20にはバス型伝送路用"TOSLINE-S20"(以 降"TL-S20")及び、ループ型伝送路用として"TOSLINE-S20LP"(以 降"TL-S20LP")がありますが、その両方に対応しています。

TOSLINE-S20の説明書は、次の構成を取っています。目的に応じて御参照下 さい。

#### ・概要

6 E 3 B 0 5 3 1

TOSLINE-S20の概要と仕様について述べています。

本装置を導入する場合、TOSLINE-S20システム全体の概略を把握・理解するためにお読み下さい。

・機能

6 E 3 B 0 5 3 2

システム設計を行う場合、TOSLINE-S20の機能を理解し、TOSLINE-S20に接続する機器のソフトウェア設計をするうえで、伝送機能とソフトウェアの取扱 いを理解するためにお読み下さい。

・据え付け・配線

3

工事担当者がTOSLINE-S20の据え付け・配線を行うための要領を述べています。

・保守・点検

4 運用者が保守・点検を行うための点検方法、及び、障害発生時のトラブルシューティン グ方法について述べています。

・S20ローダ(DOS版)

5

S20ローダ(DOS版)を使用してシステムの保守監視、及び、ステーションの情報 設定を行う方法について述べています。

・S20ローダ(Windows版;本書) 6E3B053 9

S20ローダ(Windows版)を使用してシステムの保守監視、及び、ステーションの情報設定を行う方法について述べています。

6 E 3 B 0 5 3

6 E 3 B 0 5 3

6 E 3 B 0 5 3

6 E 3 B 0 5 3 6

### 1.はじめに

・アクティブスターカプラ(ASC22)

TOSLINE-S20でFC型光コネクタ搭載ステーションの光伝送を行うために使用するアクティブスターカプラの使用方法について述べています。

・アクティブスターカプラ(ASC25)
 6E3B0538
 TOSLINE-S20でF07型光コネクタ搭載ステーションの光伝送を行うために
 使用するアクティブスターカプラの使用方法について述べています。

以下の取扱説明書はステーション種別毎の説明書です。

システム設計者、装置設計者及び保守担当者がTOSLINE-S20を組み込んで使 用する上で装置側の設計を行うためにお読み下さい。

なお、装置側の設計を行うためには装置本体の説明書も併せてお読み下さい。

・SIF(シリアルインタフェース)ステーション	6	E 3	В	0	5	4	1
・T3ステーション	6	E 3	В	0	5	4	2
・PCSステーション	6	E 3	В	0	5	4	3
・T2ステーション	6	E 3	В	0	5	4	4
・VMEバス(N-300)ステーション	6	E 3	В	0	5	4	5
・サイクロステーション	6	E 3	В	0	5	4	6
・PC/ATバス(G200)ステーション	6	E 3	В	0	5	4	7
・P5シリーズPI/Oバスステーション	6	E 3	В	0	5	4	8

### 1.はじめに

TOSLINE-S20LPの説明書は次の構成をとっています。 目的に応じて御参照下さい。

#### ・概要編

6 E 3 B 0 7 0 0

TOSLINE-S20LPの概要と仕様について述べています。 本装置を導入する場合、TOSLINE-S20LPシステム全体の概略を把握・理解す るためにお読み下さい。

・機能編

6 E 3 B 0 7 0 1

システム設計を行う場合、TOSLINE-S20LPの機能を理解し、TOSLIN E-S20LPに接続する機器のソフトウェア設計をするうえで伝送機能とソフトウェア の取扱いを理解するためにお読み下さい。

・据え付け・配線編

6 E 3 B 0 7 0 2

工事担当者がTOSLINE-S20LPの据え付け・配線を行うための要領を述べて います。

・保守・点検編

6 E 3 B 0 7 0 3

運用者が保守・点検を行うための点検方法及び障害発生時のトラブルシューティング方 法について述べています。

・ローダソフトウェア(DOS版;ループS-LS)
 S20LPローダを使用してシステムの保守監視、及びステーションの情報設定を行う
 方法について述べています。

## 1.はじめに

以下の取扱い説明書はステーション種別毎の説明書です。

システム設計者、装置設計者及び保守担当者がTOSLINE-S20LPを組み込んで 使用するうえで装置側の設計を行うためにお読み下さい。

なお、装置側の設計を行うためには装置本体の説明書も併せてお読み下さい。

・P 5 シリーズ P I / Oバスステーション( P T L S 9 )	6 E 3 B 0 7 2 0
・T3Hステーション(SN325)	6 E 3 B 0 7 2 1
・ストップバーシステムステーション(SBL22)	6 E 3 B 0 7 2 2
<ul><li>・光リピータ(SBR22)</li></ul>	6 E 3 B 0 7 2 3
・モデムインタフェースステーション(TS25)	6 E 3 B 0 7 2 4
・PC/ATバスステーション(ASNI5)	6 E 3 B 0 7 2 5

### 2.操作の前に

- 2. 操作の前に
- 2.1 S20ローダとは

S20ローダは、パソコンを利用してステーションの状態の監視、制御データの読み出し/書き込み,およびパラメータの設定等を行うものです。

S20ローダは下図のようにパソコンと"TL-S20", "TL-S20LP"ステ ーションをRS-232Cで接続します。

接続したステーション(自ステーション)及び、伝送ケーブルで接続されたステーション(他ステーション)の設定・監視を行います。S20ローダで、管理可能なステーション数は、最大64ステーションです。



伝送ケーブル

< 推奨動作環境 >

CPU	pentium相当以上
搭載メモリ	24 Mbyte以上
HD空き容量	20 Mbyte以上
画面解像度	800×600
フォント	小さいフォント

### 2.操作の前に

2.2 TL-S20(バス型)接続とTL-S20LP(ループ型)接続

< バス型接続 >



< ループ型接続 >



### 2. 操作の前に

2.3 S-LSのインストール

S-LS(Windows版)は次のようなメディアで供給します。

Windows95用(2HDフロッピーディスク2枚)

・セットアップディスク1/2

・セットアップディスク2/2

S-LSのインストールは、セットアップディスク1/2の中のSETUP.EXEを 実行してください。

SETUP.EXEは次のようにして実行します。

Windosw95用セットアップディスク1/2をフロッピーディスクドライブに挿入します。

スタート ファイル名を指定して実行 A:¥SETUP.EXE OK

SETUP.EXEの実行後は画面の指示にしたがってください。

### 2. 操作の前に

2 . 4 操作手順

このマニュアルでは、次の順序に従って本ソフトを実行できます。



### 2.操作の前に

2.5 TL-S20(バス型)とTL-S20LP(ループ型)の違い バス型とループ型では、機能面で次のような違いがあります。 以下に対応表を示します。

#### :機能有り

× :機能なし

機能	詳細	バス型	ループ型
1.ステーション接続図	接続図表示		
	並び替え	×	
	スキャン伝送アドレス一覧		
2.設定情報	スキャン伝送情報		
	ステーション制御情報		
	SIF設定情報		×
3.データアクセス	スキャンエリアのアクセス		
	基本部メモリエリアのアクセス		
	SIFメモリエリアのアクセス		×
	コモンメモリのアクセス		
4.RAS情報	オンラインマップ		
	スキャンヘルシーマップ		×
	ループマップ	×	
	ステーションステータス		
	ステーションダウン情報		
	RASカウンタ情報		
5.回線要求	オンライン要求		
	スタンバイ要求		
6.テスト要求	ハードウェアテスト		
	ステーション折り返しテスト		
7.通信環境設定画面	通信環境設定		

### 3. ローダの立ち上げ

#### 3. ローダの立ち上げ

3.1 ステーションの接続

本ローダは、S20ローダ装置(パソコン)にS20伝送ステーションをRS-232 Cで接続します。これにより、接続された伝送ステーションおよび伝送ケーブルでつなが っている他のステーションの設定・監視を行うことができます。

伝送ケーブルは以下のものを使用し、パソコンの9ピンコネクタ(オス)とS20ステ ーションの LOADER 用コネクタ(9ピン・メス)を接続します(Tシリーズ接続用)。

伝送ケーブル 製品コード …… TCJ905\*CS
 仕様 …… 両端9ピンD-SUBコネクタ
 (ただし、パソコン側:メス、ステーション側オス)
 長さ:5m

3.2 ローダソフトの起動

ローダソフトを起動します。

起動前には必ずローダケーブルでステーションと接続してください。S-LSローダは、 起動時に接続ステーション(バス型かループ型)を認識します。接続しないで、起動する とエラーメッセージを表示します。

Windows95での起動

インストールが正常に完了していれば、通常では次のようにしてS-LSを起動します。

スタート

プログラム

S-LS 伝送用ローダ For Windows95

S-LS 伝送用ローダ For Windows95

この操作で、ローダソフトが起動し、次の通信環境確認画面が表示されます。

### 3. ローダの立ち上げ

画面イ メージ	画面	ī1	X	_	ジ
---------	----	----	---	---	---

🍇 i	帕環境設定画面
	· <b>國集政定</b> 通信方法 詳細設定
	<ul> <li>通信ボート COMM 1 ▼</li> <li>ポーレート 9600 ▼</li> <li>パリティ  (周数)▼</li> <li>データ長 8 ▼</li> <li>○ 1.5</li> <li>○ 2</li> </ul>
	表示中の設定にて、ステーションと接続します。 設定変更なしのときには、「維続」 設定変更したいときには、「変更」 を選択してください。

通信環境確認画面は、ステーションとの接続条件を変更します。上記の各種設定の中で、 パリティ設定を偶数または無しに指定できます。ステーション側は工場出荷時に偶数パリ ティになっていますので、本ソフトウェアでステーション側をパリティ無しに設定しない 限りは、偶数パリティを選択してください。

この操作で、システム構成図(基本画面)が表示されます。

- 4.操作
- 4.1 ステーション接続図
- 4.1.1 標準サイズ画面

機能

現在システムに接続しているステーションの種別と状態を一覧で表示します。また、ス テーション選択により、『TOSLINE - S20 伝送用ローダ』の各画面への遷移が可能です。



バス型,ループ型共通 < 接続状態 >



オフライン or 未接続

< 伝送状態 > ループ型のみ







メニュ	1 <b>—</b>				
18ステー:	ション接続図	]			
771N(E)	у́⊑а~( <u>М</u> )	77342(0)	<u> </u>	∧μフ <sup>°</sup> ( <u>H</u> )	
	8	N 12 1	]		

メニュー又は、ツールバーにより『 TOSLINE - S20 伝送用ローダ』の各画面を表示 することができます。以下に詳細を示します。基本的な操作は、ステーション接続図画 面で、表示したいステーションを選択して、メニュー又は、ツールバーで画面を選択し ます。

#### [ファイル]

[スキャン伝送アドレス一覧を表示する] ・スキャン伝送アドレス一覧画面を表示します。 [ステーションダウン情報を表示する]・・・自ステーションダウン時に、ダウン情報を表示します。 [ステーション設定情報の一括保存]・・・全ステーションの設定情報をファイルに一括保存します。 [終了]・・・・・・・・・アプリケーションを終了します。

#### [メニュー]

[設定情報]・・・・・設定情報画面を表示します。
[デ - タアクウレス]・・・・・データアクセス画面を表示します。
[RAS 情報]
[オンラインマップ]・・・・オンラインマップ画面を表示します。
[スキャンヘルシーマップ画面を表示します。
[ル-プマップ]・・・・ スキャンヘルシーマップ画面を表示します。
[ル-プマップ]・・・・ ステーションステータス画面を表示します。
[ステ-ションダウン情報]・・・ ステーションダウン情報を表示します。
[RASカウンタ情報]・・・・ RASカウンタ情報を表示します。
[回線要求]・・・・・・・回線要求画面を表示します。
[テスト要求]・・・・・・・テスト要求画面を表示します。

#### [ オプション ]

[ ステーション表示位置 ]

Ľ	登録	{]	•	•	•	•	•	•	•	•	•	並び替えたステーションの表示位置を登録します。	
Ľ	表示	;]	•	•	•	•	•	•	•	•	쫀	経録されているステーションの表示位置を画面に反映します。	,
E	標準	]	•	•	•	•	•	•	•	•	•	並び替えたステーションの表示位置を番号の若い順に戻し	ŧ

#### す。

[通信環境設定]・・・・・ 通信環境設定画面を表示します。

#### 「 ウィント・ウ ገ

[小サイズ表示]・・・・・・ ステーション接続図を小サイズで表示します。

#### [ \|\7 ]

[目次]・・・・・・・・・ ヘルプ画面を表示します。 [キーワードを指定して検索]・・・ ヘルプの検索画面を表示します。

[バージョン情報]・・・・・・ アプリケーションのバージョン情報を表示します。

#### ツールバーの機能

ツールバーには、使用頻度の高い機能のボタンを設けています。 ボタン左側より、以下の様な配置です。

[終了ボタン]・・・・・・・・・アプリケーションを終了します。 [設定画面ボタン]・・・・・・・・設定情報画面を表示します。 [データアクセスボタン]・・・・・・・データアクセス画面を表示します。

[RAS情報ボタン]・・・・・・・RAS情報メニュー画面を表示します。 [回線要求ボタン]・・・・・・・・回線要求画面を表示します。 [テスト要求ボタン]・・・・・・・・テスト要求画面を表示します。

4.1.2 小サイズ画面

このサイズの画面は、「800×600」ドットの解像度で表示した場合に、64ステーションが一覧可能になっています。

機能的には、標準サイズ画面と同等です。

#### 画面イメージ



ステーション種別により、アイコンの種類を変化させて表示します。

ステーションのダブルクリック操作で、"設定情報 - スキャン伝送情報画面"を表示します。

4.1.3 伝送エラー

TOSLINE - S20 伝送用ローダと TOSLINE - S20 間の伝送で、エラーが発生した場合には、下記のメッセージボックスが表示されます。

送信タイムアウト 受信タイムアウト 先頭コードエラー 終了コードエラー BCCエラー 自局接続異常 受信テキスト長エラー 送受信テキスト不一致

TOSLINE - S20 伝送用ローダと自局の TOSLINE - S20 間では、2秒周期にて伝送 を行っていますが、エラー発生時にはOKボタンのクリックにて、2秒周期の伝送を再 開します。

4.1.4 並び替え

機能

ステーション接続図上の各ステーション配置順序を任意に変更することができます。 本機能はループ版のみの機能です。

画面イメージ



#### 操作方法

- (1)選択したステーションを並び替えたい位置に挿入することにより、並び替えを行います。 Shift キーを押しながら、表示位置を替えたいステーションをドラッグします。 移動中のアイコンが表示されます。
  - Shift キーを押しながら、ドラッグしたまま、並び替えたい位置でドロップします。 ドラッグしたステーションが、ドロップしたステーションの位置に挿入されます。

(2)並び替えたステーション表示位置情報の登録を行います。 メニューの"オプション"-"ステーション表示位置"-"登録"を選択します。 現在のステーション表示位置情報が登録されます。 以降、ステーション接続図表示時には、登録したステーション表示順序で表示が 行われます。

(3) ステーション表示位置を標準表示位置に戻します。

メニューの"オプション"-"ステーション表示位置"-"標準"を選択します。

ステーションの表示順序が、ステーション番号の若い順番に表示されます。

4.1.5 スキャン伝送アドレス一覧

機能

現在システムに接続しているステーションのスキャン伝送アドレスを一覧表示します。 又、複数のステーション間で、スキャン伝送アドレスの重複がある場合に、その箇所を 色塗りの表示にします。オンライン又は、スタンバイ状態のステーションに関してのみ表 示します。

画面イメージ

🧱 スキャン伝送アドレス-	→覧				_ 🗆 ×								
771H( <u>F</u> )													
FC STN (T3)													
No. :Kind 01 : PC STN (T3) C 02 : PC STN (T3) C	Address1 2000 - 0032 2064 - 0064	Address2 0512 - 0544 0030 - 0030	No. :Kind	Address1	Address2								
05:SIF STN C	0768 - 0832	0192 - 0208											

#### 操作方法

- (1)スキャン伝送アドレス一覧画面を表示させます。 メニューの " メニュー " - " スキャン伝送アドレス一覧 "を選択します。 スキャン伝送アドレス一覧画面が、表示されます。
- (2)情報を再読み出しします。
  - メニューの"ファイル"-"読み出し"を選択します。 スキャン伝送アドレスの表示が更新されます。
- (3)スキャン伝送情報設定画面を表示させます。

スキャン伝送アドレス一覧で、"No.: Kind"表示箇所をダブルクリックします。 該当ステーションのスキャン伝送情報設定画面が表示されます。

4.2 設定情報

各ステーションのパラメータの表示 / 設定が可能です。

但し、選択したステーションがスタンバイ・モードの場合のみ設定可能です。 設定可能な情報は次の通りです。

(1) スキャン伝送情報

- (2)ステーション制御情報
- (3) SIF部設定情報

4.2.1 スキャン伝送情報

#### 機能

選択されているステーションのスキャン伝送情報の表示及び、設定が可能です。

画面	1	メ	-	ジ
----	---	---	---	---

設定項目>	
ステーション種別	SIF STN
送信先頭アドレス1	384 💌 🌢
送信ワード数1	10 💌 🌢
送信先頭アドレス2	0
送信ワード数2	0

### ステーション種別

< バス型	>	
(1)T4	:	T4 ステーション
(2)T3	:	Τ3 ステーション
(3)T2	:	Τ2 ステーション
(4)HTI	:	ハンディターミナル分岐器
(5) PLC-5	:	PLC-5
( 6 ) PC/AT	:	PC/AT バス
(7) SIF	:	シリアル・インターフェース
(8) MDM05	:	MDM05
(9) PC98	:	PC9801
(10)SG	:	MCR22
(11) PCS	:	PCS4000/6000/7000
(12)VME	:	VME バス
(13) CYCLO	:	TOSCYCLO-u/H850
(14)U/S	:	TOSVERT-u/S250
(15)VF	:	TOSVERT-VF

#### <ループ型>

( 1 ) G200H	:	G200H ステーション
( 2 ) MCR25	:	MCR ステーション
(3) PTLS9	:	PCS ステーション
(4) SBL22	:	信号伝送装置ステーション
(5) T3H	:	Τ3Η ΖΞ-ͽ϶ͻ
(6) TS25	:	モデ゛ム・インターフェース

未定義のステーションに関しては、ステーション種別コードを表示します。

#### 設定可能項目

- (1)送信先頭アドレス1(TL-S20:0~1023)(TL-S20LP:0~4095)
- (2)送信ワード数1(0~1024)
- (3)送信先頭アドレス2(TL-S20:0~1023)(TL-S20LP:0~4095)
- (4)送信ワード数2(0~1024)

#### 操作方法

(1)値の設定

送信先頭アドレス1,送信ワード数1,送信先頭アドレス2,送信ワード数2の値を 入力します。(数値の直接入力,コンボボックスとスピンボタンにより選択)

"ОК"ボタンまたは、"更新"ボタンをクリックします。

設定したデータが、該当ステーションに送信されます。

(2)値設定後のキャンセル

"キャンセル"ボタンをクリックします。

設定したデータは無効になり、設定情報ウィンドウが消去されます。

(3) ステーション選択

ステーション番号をコンボボックス又は、スピンボタンにより選択します。

選択したステーションの情報に切り替わります。

(4)ファイルへの保存(該当の1ステーション)

メニューの"ファイル保存"の選択、または、画面右上の"ファイル保存"のボタンを クリックします。

保存ファイル名指定のダイアログボックスが表示されます。

ダイアログボックス上にて、保存ファイル名のパスを設定します。

指定のパスに、該当ステーションの設定情報ファイルが出力されます。

(5)ファイルからの読み込み(該当の1ステーション)

メニューの"ファイル読込"の選択、または、画面右上の"ファイル読込"のボタンを クリックします。

読込ファイル名指定のダイアログボックスが表示されます。

ダイアログボックス上にて、読込ファイル名のパスを設定します。

指定のパスから、該当ステーションの設定情報が読み込まれ表示されます。

4.2.2 ステーション制御情報

#### 機能

選択されているステーションのステーション制御情報の表示及び、設定が可能です。

画面	1	አ	-	ジ
----	---	---	---	---

😲 設定情報	×
メニュー( <u>M</u> ) ファイル操作( <u>F</u> )	
ステーションNo. (1-64) <	
スキャン伝送情報	ション制創情報
スキャン伝送 スキャン伝送	メッセージ伝送
○ スキャン伝送を 禁止する	○ メッセージの伝送を 禁止する
◎ スキャン伝送を	○ メッセージの伝送を
<sup>*</sup> 許可する	*************************************
- スキャンアクセス	- パリティ設定
● 1W	● 偶数パリティ
O 2W	〇 パリティ無し
日播せくクル時間	
24.6 T msec	□ スタンパイ立ち上げをする
	面新 trình
	3237/1 1977Clp

#### 設定可能項目

(1) スキャン伝送の禁止 / 許可

- (2)スキャンアクセス・ワード数(1W/2W)
- (3) メッセージ伝送の禁止 / 許可
- (4) ローダポートのパリティ設定 偶数/無し
- (5)目標サイクル時間

単位 : msec

3.07	4.10	5.12	6.14	7.17	8.19	9.22	10.2	11.3	12.3
13.3	14.3	15.4	16.3	20.5	24.6	28.7	32.8	36.9	41.0
45.1	49.2	53.2	57.3	61.4					

(6)スタンバイ立ち上げをする / しない

#### 操作方法

(1)スキャン伝送の禁止/許可,スキャンアクセス・ワード数,メッセージ伝送の禁止/許可, ローダポートのパリティ設定偶数/無し,スタンバイ立ち上げする/しない(チェックボッ クス)の設定

画面上にて設定したい方を二者択一します。

"ОК"ボタンまたは、"更新"ボタンをクリックします。

設定したデータが、該当ステーションに送信されます。

(2)目標サイクル時間の設定

コンボボックスより、設定したい目標サイクル時間を選択します。

"ОК"ボタンまたは、"更新"ボタンをクリックします。

設定したデータが、該当ステーションに送信されます。

(3)値設定後のキャンセル

"キャンセル"ボタンをクリックします。

設定したデータは無効になり、設定情報ウィンドウが消去されます。

(4) ステーション選択

ステーション番号をコンボボックス又は、スピンボタンにより選択します。

選択したステーションの情報に切り替わります。

- (5)ファイルへの保存(該当の1ステーション)
  - メニューの"ファイル保存"の選択、または、画面右上の"ファイル保存"のボタンを クリックします。

保存ファイル名指定のダイアログボックスが表示されます。

ダイアログボックス上にて、保存ファイル名のパスを設定します。

指定のパスに、該当ステーションの設定情報ファイルが出力されます。

(6)ファイルからの読み込み(該当の1ステーション)

メニューの"ファイル読込"の選択、または、画面右上の"ファイル読込"のボタンを クリックします。

読込ファイル名指定のダイアログボックスが表示されます。

ダイアログボックス上にて、読込ファイル名のパスを設定します。

指定のパスから、該当ステーションの設定情報が読み込まれ表示されます。

4.2.3 SIF部設定情報

#### 機能

選択されているステーションのSIF部設定情報の表示及び、設定が可能です。 本機能はTL-S20(バス型)のみ有効です。

画面イメー
-------

<ul> <li>         • 設定情報         • X         • X         • X</li></ul>
メニュー( <u>M</u> ) ファイル抹染作( <u>F</u> )
ステーションNo. (1 - 64) 05 📲
スキャン伝送情報 ステーション制御情報 SIF部設定情報
ポート選択 ◎ ポート1 ◎ ポート2
ボーレート 300 ▼● パリティー パリティー
- データ長(Bit) - ストッブビット 伝送種別 ○ 7 ○ 8 ○ 1 ○ 2 無手順/同報 ▼
<ul> <li>フローコントロール</li> <li>⑦ 有り ◎ 無し</li> <li>マルチキャストアドレス F</li> <li>(0 - 9, 無し:F) F</li> </ul>
無手順相手先ボート 無し ▼ (1 - 64, 無し:0) ○ ■

#### 設定可能項目

ポート別(ポート1/ポート2)に情報を設定します。

(1)ボーレート(300,600,1200,2400,4800,9600,19200)BPS

(2)データ長(7,8)bit

- (3) ストップビット(1,2) bit
- (4)パリティビット(無,奇数パリティ,偶数パリティ)
- (5) フローコントロール有無
- (6)伝送種別(メッセージ伝送,無手順/同報)
- (7)無手順相手先アドレス(無,1~64)
- (8)無手順相手先ポート( 無,1,2)
- (9)マルチキャストアドレス(無,0~9)

#### 操作方法

(1)設定を行うポートの選択

画面上にて設定したいポート(ポート1/ポート2)を選択します。

選択したポートの設定情報に表示が切り替わります。

(2)各情報の設定

画面上にて各情報の変更を行います。

- "ОК"ボタンまたは、"更新"ボタンをクリックします。
  - 設定したデータが、該当ステーションに送信されます。
- (3)値設定後のキャンセル
  - "キャンセル"ボタンをクリックします。

設定したデータは無効になり、設定情報ウィンドウが消去されます。

(4) ステーション選択

ステーション番号をコンボボックス又は、スピンボタンにより選択します。

選択したステーションの情報に切り替わります。

(5)ファイルへの保存(該当の1ステーション)

メニューの"ファイル保存"の選択、または、画面右上の"ファイル保存"のボタンを クリックします。

保存ファイル名指定のダイアログボックスが表示されます。

ダイアログボックス上にて、保存ファイル名のパスを設定します。

指定のパスに、該当ステーションの設定情報ファイルが出力されます。

(6)ファイルからの読み込み(該当の1ステーション)

メニューの"ファイル読込"の選択、または、画面右上の"ファイル読込"のボタンを クリックします。

読込ファイル名指定のダイアログボックスが表示されます。

ダイアログボックス上にて、読込ファイル名のパスを設定します。

指定のパスから、該当ステーションの設定情報が読み込まれ表示されます。

4.2.4 設定情報の一括保存

#### 機能

現在、システムに接続中の各ステーションの設定情報の一括ファイル保存が可能で す。

- (1) スキャン伝送情報
- (2) ステーション制御情報

(3) SIF部設定情報



#### 操作方法

ステーション接続図にて、メニューの"ファイル" - "ステーション設定情報の一括保存" を選択します。

保存ディレクトリ指定のダイアログボックスが表示されます。 ダイアログボックス上にて、保存ディレクトリ名を設定します。

指定のディレクトリに、各ステーションの設定情報ファイルが出力されます。

4.3 データアクセス

接続ステーションのスキャンメモリに対して、読み出し・書き込みを行うことができま す。ステーション番号,先頭アドレスを指定しますことによりスキャンエリアのアクセス が可能です。

データの表示形式は、10進数,16進数から選択しますことができます。

"データの連続読み出し"をチェックしますことにより、同じアドレスのデータを周期的(2秒)に読み出し、表示しますことができます。

また、スキャンデータのファイルへの読み書きが可能です。

<u>M</u> -174	♪ ファイル操	:/fece)					F	データ表 10:	示方法——
Ĩ	-く データ	<b>シ</b> アクセ	zス・メ	<b></b> _ :	>		-		
	スキャ	, ンエリ	アのア	クセス		-		実	íī
	ステージ	ションN	o. (1	- 64 )	16	•		= 2 h-	
	先頭ア	ドレス	(0-	1023 )	00	00 -		7 -9.	<u> </u>
	読み出し	レワード	数(1-	16 )	16		「データ(	の連続読	み出し
	· · · · ·	0	1	2	3	4	5	6	7
	10 12		0	0	0	0	0	0	0
	[0000]	0				0	~ 1	~	A 1
	[0000] [0008]	0	0	0	0	0	U	0	
	[0000]	0	0	0	0	0	0	0	]

4.3.1 スキャンエリアのアクセス

#### 機能

選択されているステーションのスキャンエリアの表示及び、設定が可能です。

画面イメーシ	<b>ア</b> クセス		×
		ーデータ表示方法 16進	
	< データアクセス・メニュー >- スキャンエリアのアクセス ステーションNo. (1 - 64 )	▼ 実行	
	先頭アドレス (0-1023) 読み出しワード数(1-16)	<u> </u>	
	戻	₹る	

#### 操作方法

(1)値の表示

データアクセス・メニュー上にて、ステーション番号、先頭アドレス、読み出しワード数 を設定します。

"実行"ボタンをクリックします。

選択したステーションのデータが表示されます。

(2)データの連続読み出し

画面上の"データの連続読み出し"チェックボックスをチェック状態にして、

"実行"ボタンをクリックします。

同じアドレスのデータが周期的(2秒)に読み出され表示されます。

(3) データの表示形式の変更

画面上の"データ表示方法"の"10進"または、"16進"ボタンをクリックします。
 データの表示形式が、指定の形式に切り替わります。(ボタン上の表示は、現在の形式)

(4)値の設定("データ連続読み出し中"には、設定操作は行えません。)

設定したいデータの個所をクリックします。

設定したいデータを変更します。

"データ書込"ボタンをクリックします。

変更データが、該当のステーションに送信されます。

(5) データのファイル保存

データを表示させている状態で、メニューの"ファイル操作"-"ファイルに保存"を選択します。 または、画面上の"ファイル保存"ボタンをクリックします。

保存ファイル名指定用のダイアログが表示されます。

ダイアログ上で、保存ファイル名を指定します。

指定のファイル名で、表示中のデータがファイル出力されます。

#### (6) データのファイル読込

メニューの"ファイル操作"-"ファイルから読込み"を選択します。

または、画面上の"ファイル読込"ボタンをクリックします。

読込ファイル名指定用のダイアログが表示されます。

ダイアログ上で、読込ファイル名を指定します。

指定のファイルからデータが読み込まれ、表示されます。

画面イメ	ージ ( デ	「ータ表示状態)	
------	--------	----------	--

-く データ	アクセ		 データ					タ表示方法 10進		
		ス・メ	<b>=</b> - <b>-</b>	>						
スキャ	ンエリ	アのア	クセス		-		実	行		
ステーシ	'aDN	o. (1	- 64 )	16			1			
生頭マド		(0-	1023 )	,			· デ <sup>*</sup> ータ電	事込		
プロの見 / 11		** / 4	1020 7	- Joo		[] — — L.		-		
読み出し	,9- Fi	ex ( 1 -	10 /	[16		テータ(	り理読詞の	や出し		
	0	1	2	3	4	5	6	7		
[0000]	0	0	0	0	0	0	0	0		
[0008]	0	0	0	0	0	0	0	0		
				= -	1					

画面イメージ(ファイル名指定のダイアログ)

ファイルから読み込む	3	? ×
ファイルの場所①	🔄 SIs32 💽 💼 🧰	
🦲 Files		
ファイル名(N):	IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	
ファイルの種類(工):	スキャンエリア情報保存ファイル(*.DT1) キャンセル	
		_

4.4 RAS情報

ステーション内で作成されるRAS情報の読み出しを行います。

ステーション接続図画面上のツールバーよりRAS情報をクリックすると、RAS情報 メニューが表示されます。

RAS情報メニュー上で、表示させたい画面を選択することにより各画面を表示します。

RAS情報画面には、以下の6画面があります。

(1)オンラインマップ

各ステーションの接続状態を表示します。

- (2)スキャンヘルシーマップ(TL-S20LP(ループ型)にはありません)
   スキャン伝送の実行状態をスキャンエリアのワード単位で表示します。
- (3)ループマップ(TL-S20(バス型)にはありません)各ステーションのループ状態を表示します。
- (4)ステーションステータス
   任意のステーションのステーションステータスを表示します。
   (5)ステーションダウン情報
  - ダウン状態のステーションより、ダウン原因を読み込み表示します。
- (6) R A S カウンタ情報

任意のステーションのRASカウンタ情報を表示します。

4.4.1 オンラインマップ

#### 機能

ステーションの接続状態を表示します。 3秒周期で、ステーションより読み込み、表示します。

#### 画面イメージ

	$\circ$			٠			0	Õ		•	•			10	•
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
•   49	•   50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
•	0				٠	٠		٠	0	٠		٠		0	•

### 操作方法

RAS情報メニューよりオンラインマップを選択します。 オンラインマップの画面が表示されます。

4.4.2 スキャンヘルシーマップ

#### 機能

スキャン伝送の実行状態をスキャンエリアのワード単位で表示します。 3秒周期で、ステーションより読み込み、表示します。 本機能はTL-S20LP(ループ型)にはありません。

#### 画面イメージ



: スキャンデータが正常に更新されています。

: スキャンデータの更新が行われていません。

#### 操作方法

RAS情報メニューよりスキャンヘルシーマップを選択します。 スキャンヘルシーマップの画面が表示されます。

4.4.3 ループマップ

#### 機能

各ステーションのループ状態を表示します。

本機能はTL-S20(バス型)にはありません。

画面イメージ



#### 状態の種別

No.	ループモード	ステーションタイプ	表示マーク	表示色
1	カットオフ	終端局		黄色
2	スルー	終端局		水色
3	端局 1	終端局		紫
4	端局 2	終端局		緑
5	スルー	一般局	$\bigcirc$	水色
6	端局 1	一般局	$\bigcirc$	黄色
7	端局 2	一般局	$\bigcirc$	紫

端局1:伝送路1系側送信禁止/伝送路2系受信禁止

端局2: 伝送路2系側送信禁止/ 伝送路1系受信禁止

#### 操作方法

RAS情報メニューよりループマップを選択します。

ループマップの画面が表示されます。

4.4.4 ステーションステータス

#### 機能

指定したステーションのステーションステータスを読み出し表示します。

画面イメージ

		項目	内容
H <b>C</b> 02		回線接続状態	オフライン
		親局/子局モード	親局
		スキャン伝送	禁止
		テスト	実行
		外部機器1	異常/未接続
		外部機器2	異常/未接続
- <b>C</b> 10 - <b>C</b> 10 - <b>C</b> 11 - <b>C</b> 12	•	(注)外部機器2は のみ有効です	SIFステーション時 。

#### 表示項目

- (1)回線接続状態(オンライン,オフライン,スタンバイ)
- (2) 親局 / 子局モード(親局,子局)
- (3)スキャン伝送禁止/許可(禁止,許可)
- (4) テスト(実行, 不実行)
- (5)外部機器1(正常,異常/未接続)
- (6)外部機器2(正常,異常/未接続)

ループ版の場合は更に以下の項目も表示されます。

- (5) R C V 1: T X 2 状態(許可,禁止)
- (6) R C V 2: T X 1 状態(許可,禁止)
- (7)ループ状態(終端局・リピート,終端局・カット,一般局)

4.4.5 ステーションダウン情報

#### 機能

ダウン状態のステーションから、ダウン原因を読み出し表示します。 本機能はダウン状態になったステーションにS20ローダを直接接続して使用します。 ネットワーク上の他のステーションからダウン状態のステーションの情報を読み出すこ とはできません。

ī	面	1	×	_	=7	
	ш	· I	ァ		1	

-くステー:	ノョンダウン情報>	
	ステーションNo. (1 - 64 )	11
$\sim$	ダウン情報	
	60H: ハードウェア異常	
	2	

#### ダウンメッセージ

- (1)10H : ウォッチ・ドッグ・タイムアウト
- (2)20H: メモリバス異常
- (3)30H: 接続機器(SIF部)異常
- (4)40H : MACジャバ・タイムアウト
- (5)60H : ハードウェア異常
- (6)67H : SIF部立ち上げ異常
- (7)77H : 受信バッファオーバーフロー
- (8)未確認コードの場合 エラーコードと"その他の異常"

指定ステーションが、正常時には、以下のメッセージボックスが表示されます。

ステーショ	ロンダウン情報 🛛 🔀
٩	オンラインモードです。 『OK』のボタンを押してください。
	ОК

4.4.6 RASカウンタ情報

#### 機能

該当ステーションのRASカウンタ情報を表示します。

#### 画面イメージ

RASカウンタ表示画面         ファイル(E) 操作(©)         ステーションNo. (1 - 64) 01 ●         ネットワーク関連         ネットワーク関連         ネットワーク開進         ネットワーク開進         ネットワーク開進         ネットワーク開進         ネットワーク開進         ネットワーク開進         ネットワーク開進         キットワーク規能         キットワーク発業         ション情報         CC_L         BCC_L         BCC_H         BCC_H	
カウンタ クリア 戻る 「 連続読み出	U

#### 表示項目

ネットワーク関連(クリア可)	ステーション情報(クリア不可)
ネットワーク加入回数	ステーションタイプ
ネットワーク離脱回数	ROM.Rev
ネットワーク異常	作成年,月,日
	ブロックチェックコード(BCC_L,BCC_H)

#### 操作方法

(1) R A S カウンタ情報画面の表示

RAS情報メニューよりRASカウンタ情報を選択します。

RASカウンタ情報画面が表示されます。

(2)情報の連続読み出し

画面上の"連続読み出し"のチェックボックスをチェック状態にします。RASカウンタ情報を周期的(2秒)に読み出し表示されます。

(3) R A S カウンタ情報のクリア

メニュー上より、"操作"-"カウンタクリア"を選択します。 情報クリアの実行確認のメッセージボックスが表示されます。

確認のメッセージボックス内で、"はい"をクリックします。 RASカウンタ情報がクリアされます。

### 4.操作(回線要求)

4.5 回線要求

4.5.1 回線要求

#### 機能

選択したステーションに対して、"オンライン要求"又は、"スタンバイ要求"を発行 します。

自局(S20ローダを接続しているステーション)に対しては、常に要求可能です。自 局以外のステーションに関しては、自局がオンライン又は、スタンバイ状態のときのみ要 求可能です。

#### 画面イメージ

ステーションNo. (1 - 64)	● 05 💽 🖣 要求指定
ステーションNo.05       ステーションNo.06       ステーションNo.07       ステーションNo.08       ステーションNo.09       ステーションNo.10       ステーションNo.11       ステーションNo.12       ステーションNo.13       ステーションNo.14	< 要求種別 > ・ オンライン要求 ・ スタンバイ要求 実行

#### 操作

(1)選択した1ステーションに対しての回線要求

ステーション番号を選択します。

要求種別を選択します。

" 実行 " ボタンをクリックします。

選択したステーションに対して、選択した要求が発行されます。

### 4.操作(回線要求)

(2) 複数ステーションに対しての回線要求

メニューより"わ゚ション"- "複数ステーションの操作"を選択します。

複数ステー	・ション	ン操作用の	ウィン	ドウが表示	されます。

	1
入デーションNo. 01     ▲       スデーションNo. 02     スデーションNo. 03       スデーションNo. 04     ▲       ステーションNo. 05     ステーションNo. 05       ステーションNo. 06     ステーションNo. 07       ステーションNo. 07     ステーションNo. 08       ステーションNo. 09     ステーションNo. 10       ステーションNo. 11     ステーションNo. 12       ステーションNo. 13     ▼	<ul> <li>6 オンライン要求</li> <li>6 オンライン要求</li> <li>6 スタンバイ要求</li> <li>実行</li> </ul>

要求をかけたいステーションを選択します。

<mark>純</mark> 回線要求 メニュー( <u>M</u> ) オフ <sup>ジ</sup> ョン( <u>O</u> )	X
一 複数ステーションの処理 接続ステーション      送続ステーション      ステーションNo. 01     ステーションNo. 02     ステーションNo. 03     ステーションNo. 04     ステーションNo. 05     ステーションNo. 05     ステーションNo. 05     ステーションNo. 06     ステーションNo. 07     ステーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシーシ	<ul> <li>一括要求処理</li> <li>● オンライン要求</li> <li>● スタンバイ要求</li> </ul>
ステーションNo. 08 ステーションNo. 09 ステーションNo. 10 ステーションNo. 11 ステーションNo. 12 ステーションNo. 13 ▼	実行
	戻る

選択したステーションが反転表示されます。

要求種別を選択します。

"実行"ボタンをクリックします。

選択した複数ステーションに対して、選択した要求が発行されます。

### 4.操作(テスト要求)

4.6 テスト要求

機能

ハードウェアテスト:

ROMエリア,設定スイッチ,ステーションの妥当性をチェックします。(自ステーションのみ)

ハードウェアテストは、スタンバイモード時のみ可能です。

ハードウェアテストはステーションを切り離して単独の状態にして使用してください。 さもないと、他のステーションが誤動作する可能性があります。

#### ステーション折り返しテスト:

自ステーションと指定ステーション間で、データ折り返し伝送を行います。

画面イメージ

く 要求種別 > ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ウェアテスト ノョン 折り返しテスト
ステージョンNo. 01 ▲ ステージョンNo. 02	ステーションNo. (1-64) テスト相手先 ステーションアト <sup>®</sup> レス テスト回数 : 回 実行

#### 操作

(1)ハードウェアテスト



### 4.操作(テスト要求)

(2) ステーション折り返しテスト

▲ デメド要求 く 要求種別 > ● ○ ハードウ ■ ○ ステージ	フェアテスト /ョン 折り返しテスト
<mark>-☞ <u>2</u>7-୬ョン№.01 -©</mark> 27-୬ョン№.02	ステージョンNo. (1−64) テスト相手先 01 ▼● ステージョンアト <sup>*</sup> レス 01 ▼● テスト回数 : 100 回 実 行
	戻る

ステーション折り返しテストの要求種別を選択します。

テストを行いたいステーションを選択します。

テスト回数を入力します。

実行ボタンをクリックします。

確認ウィンドウが表示されます。

"OK"ボタンをクリックします。

ステーション折り返しテストが実行されます。



テスト実行中の中断は、"中断"ボタンをクリックします。 ステーション折り返しテストが中断されます。

### 4.操作(通信環境)

4.7 通信環境

#### 機能

『TOSLINE - S20 伝送用ローダ』の通信環境の設定を行います。

但し、環境設定の(1) "通信ポート",(3)パリティ 以外は、特殊操作になりま す。Ctrl キーを押しながら通信環境設定画面の左上部のアイコンをクリックして、ロック を解除した状態にしないと設定可能な状態になりません。

#### 画面イメージ(環境設定)

<b>《《 通信</b> 53	環境設定画面 「環境設定」 通信方法 詳細設定 通信ボート COMM 1 ▼ ポーレート 9000 ▼ バリティ アカー 「 1	X

#### 設定項目

- (1)通信ポート(<u>COMM 1</u> ~ COMM 16)
- (2)ボーレート(1200,2400,4800,<u>9600</u>,19200)BPS
- (3)パリティ(無,奇数パリティ,<u>偶数パリティ</u>)
- (4)データ長(7,<u>8</u>)bit
- (5)ストップビット(<u>1</u>,1.5,2)bit

下線のデータがデフォルトの設定値です。

### 4.操作(通信環境)

画面イメージ(通信方法)

🍇 通信環境設定	E画面
	受信バッファのサイズ 1024 Byte
	読み込む文字列のサイズ 256 Byte
	送信バッファのサイズ 512 Byte
	パリティエラー時に置き換える文字 💡
	Nullが転送されるかどうか False
L	ОК

#### 設定項目

- (1)受信バッファのサイズ( <u>1024</u> )
- (2)読み込む文字列のサイズ(256)
- (3)送信バッファのサイズ( <u>512</u> )
- (4)パリティエラー時に置き換える文字(?)
- (5) Nullを受信バッファに転送するか?(True, <u>False</u>)
   下線のデータがデフォルトの設定値です。

### 4.操作(通信環境)

画面イメージ(詳細設定)

<mark>,通信環境設定</mark>	
-	環境設定 通信方法 詳細設定
	DIR J4 ノを有効にするかとうか。 Jiaise
	RTSラインを有効にするかどうか   True
	ハンドシェイクの設定 XON/XOFF ▼
	受信OnCommイベントの発生間隔 1 文字ごと
	送信OnCommイベントの発生間隔   「文字こと」
	О К <b>+</b> е`/₱Ш

#### 設定項目

- (1) DTR ラインを有効にするかどうか?(True, <u>False</u>)
- (2) RTS ラインを有効にするかどうか?(<u>True</u>, False)
- (3)ハンドシェイクの設定(XON / XOFF, CTS / RTS)
- (4)受信 OnComm イベントの発生間隔(<u>1</u>~256)文字毎
- (5)送信 OnComm イベントの発生間隔(<u>1</u>~256)文字毎

下線のデータがデフォルトの設定値です。

### 5.終了

5.終了

メニュー又は、ツールバーによりS20ローダを終了します。

メニュ	1-	_			
器ステー: ファイル(F)	ション接続図 メニュー(M)	オフ <sup>*</sup> ション(0)	<u></u>	^/↓フ <sup>°</sup> (H)	
			]		

[ファイル] [終了]・・・・・・・・アプリケーションを終了します。

ツールバー

[終了ボタン](左端のボタン)・・・アプリケーションを終了します。

1. Ver.1.1 Ver.2.0への変更点

次の変更を実施しました。

(1)WindowsNT他のOSに対応

Ver.1.1ではWindows95/98対応でしたが、これに加えて WindowsNT、2000、MEにも対応しました。

No.		動作可	能なOS	
1	Windows	95		
2	Windows	98		
3	Windows	NT4.0	S P 3 以上	(WorkStation)
4	Windows	2000		
5	Windows	ME		

(2)オフラインモード、ダウンモードでステーション設定情報が書き込めない問題点対策
 Ver.1.1ではステーション側が、オフラインモード及びダウンモードのときに
 ステーション設定情報が書き込めない問題点がありましたが、この状態でも書き込めるよう
 に修正しました。

(3) インストール用 F D 枚数変更

Ver.1.1ではインストール用FDが2枚でしたが、3枚に増えました。 Windows用(2HDフロッピーディスク3枚)

- ・セットアップディスク1/3
- ・セットアップディスク2/3
- ・セットアップディスク3/3

S-LSのインストールは、セットアップディスク1/3の中のSETUP.EXEを 実行してください。

SETUP.EXEの実行後は画面の指示にしたがってください。

2. Ver.2.0 Ver.2.1への変更点

次の変更を実施しました。

(1)Windows XPに対応

Ver.2.0ではWindows MEまでの対応でしたが、これに加えて Windows XPにも対応しました。

No.	動作可能なOS			
1	Windows	95		
2	Windows	98		
3	Windows	NT4.0	S P 3 以上	(WorkStation)
4	Windows	2000		
5	Windows	ME		
6	Windows	ХР		

- 3. Ver.2.0および2.1の使用上の注意
  - (1)日本語版は日本語OSでのみ動作します。英語OSでは動作しません。
  - (2)Windows NT/2000/XPにインストールする場合は Administrator権限が必要です。
  - (3)東芝製パソコンにインストールする場合、ソフトウェアモデムが動作する環境では、 ソフトウェアモデムを使用禁止にするか、COMポートの割り付けを17以上にして ください。
  - (4)パソコンの機種とOSの種類により、インストーラ起動までに数分かかることがあり ますが、異常ではありません。また、インストールが失敗した場合は、再度、最初か らやり直してください。
  - (5)Windows95/98にインストールする場合、システムファイルの更新を要求 されますので、[OK]してください。また、指示に従ってWindowsの再起動 を行い、もう一度セットアップを行ってください。
  - (6)WindowsXPにインストールする場合、「間違ったボリューム」のダイアログ が表示されることがあります。セットアップディスク1を挿入すれば、インストール が正常完了します。
  - (7) USB~RS-232C変換器には対応しておりません。正常に動作しない場合があ ります。
  - (8)セットアップディスク3枚の内容を、そのまま同一フォルダにコピーしてセットアップを起動してもインストールすることができます。

- 4. Windows 7 (32ビット版) に対応
- (1) 日本語版は日本語OSでのみ動作します。英語OSでは動作しません。
- (2) Windows 7での推奨動作環境は以下のとおりです。
  - CPU: 1GHz以上のプロセッサ
  - 원:1GB 以上
  - HDD: 2GB以上の空き容量
- (3) Windows 7にインストールする場合は、Administrator権限が必要です。
- (4) インストール中に"バージョンの競合"というメッセージボックスが表示する場合は、
- 「はい」を選択しインストールを継続してください。
- (5) ヘルプを表示する場合は、「Windows 7 用 Windows Help プログラム (WinHlp32.exe)」 をマイクロソフトのホームページからダウンロードしてインストールしてください。

<ダウンロード手順>

1)インターネットエクスプローラにて、以下のHPに移動します。

マイクロソフトダウンロードセンター(www.microsoft.com/japan/download.htm)

- 2)検索にて、"WinHlp32.exe"を入力し、検索を実行します。
- 3)検索結果より、"Windows 7 用 WinHlp32.exe"を探し、移動します。
- 4) 画面内にある[続行] ボタンを押し、ダウンロードページに移動します。



※正規Windowsの確認を要求される場合がありますので、画面の指示に従って確認作業を行っ

てください。

5) ダウンロードページにて、32ビット版のファイルをダウンロードします。

🕗 ダウンロードの詳細: Windows	7 用 WinHlp32.exe - Microsoft Int	ernet Explorer	_ 🗆 🔀
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) お	気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)		A.
😋 戻る 🔹 📀 🕤 💌 🛃 (	🏠 🔎 検索 🥎 お気に入り 🧭	🗟• 🍓 🖃 📙 🏭 🦓	
アドレス(D) 🙋 http://www.microsoft.c	com/downloads/details.aspx?FamilyID=258a	a5ec-e3d9-4228-8844-008e02b32a2c&di	si 🔽 🔁 移動 🛛 リンク 🌺
	ファイル名:	ファイル サイズ	
	Windows6.1-KB917607-x64.msu 🐇	702 КВ	ダウンロード
	Windows6.1-KB917607-x86.msu 🐇	588 KB	ダウンロード
	↑ <u>ページトップへ</u>		3
	関連リソース		~
<b>ë</b>			🗿 インターネット

ダウンロードファイル名(32ビット版): Windows6.1-KB917607-x86.msu

6)ファイルを開きセットアップを開始します。

ファイルの	ダウンロード	
20771	「ルを開くか、ま	たは保存しますか?
<b>R</b>	名前: 種類: 発信元:	Windows6.1-KB917607-x86.msu Microsoft Update スタンドアロン パッケージ, 687 KB <b>download.microsoft.com</b> 開(( <u>0</u> ) 保存( <u>S</u> ) キャンセル
2	インターネットの を起こすものも 存したりしない	Dファイルは役に立ちますが、ファイルによってはコンピューターに問題 あります。 発信元が信頼できない場合は、 このファイルを開いたり保 でください。 <u>危険性の説明</u>

■ネットワークに接続できない場合

ネットワークに接続可能なPCにて上記のファイルを保存し、インストールするPC (Windows 7)にて実行してください。